

本日の為替見通し

ポイント

「ギリシャという病人がいて、薬を与えたら病気が悪化し、薬の量を増やしたら、病気がヨーロッパ中に広がった」、ある独議員の発言である。ドイツ国内では多数とは言わないが、ギリシャ支援で国民が負担することに対して、少なからず不満は残っている。

一方の支援を受けるギリシャでは、2大労組が緊縮財政で給料や年金の大幅カットを受け入れられないと、48時間のストライキを実施し、市民の大規模な抗議デモが発生している。

ギリシャ警察官労組はトロイカ当局者へ逮捕状を要求という、驚いた報道もあった。ギリシャ警察官の組合がトロイカ当局者(欧州委員会元代表、IMF担当者、ECB担当)に、「恐喝・民主主義を覆し主権をはく奪しようとする国家侮辱罪」で、ギリシャの法律に従い、彼らに逮捕状を出すように当局要請すると警告とのこと……………。

ギリシャ閣議で、第2次支援を受ける緒条件は閣議で可決された。12日(日本時間13日午前7時から開始)のギリシャ議会で可決・承認されることは報道によれば議席の約80%を占めており、ほぼ間違いのないとも言われている。

そして、15日のユーロ圏財務相会合でギリシャ第2次支援が決定され、17日のタイムリミットをクリアできれば、とりあえず安心でき、このようにすんなり話が進むことを望んでいる。ただ、議会で可決・承認後には内閣の改造が予定されており、早ければ4月ごろとも思われているギリシャ総選挙が次の焦点になりそうである。

日経新聞(12日)の「欧州危機 市場の注目点」で二人のインタビュー記事があり、日本に関する記載があった。

◎アンジェリケン・ケンナ氏(オラン APG 最高運用責任者)は「労働市場を改革し、経済統合で大きな自由市場を形成しなければ、ドイツを除き企業は戦えない。「世界で埋没し、低成長と低金利の日本ようになってしまう」と言っている。

◎ジムオニール氏(GS・AM 会長)は中国のGDPは目覚ましく、わずか11週間でギリシャと同じGDPが生まれ、昨年1年間でイタリアGDPの半分を生み出した。「世界経済に重要なのは中国と米国、そして欧州」と言い、日本の名前は無かった。

日本に関する記事は海外で非常に少ない。その中で、安住淳財務相が10日の衆院予算委員会で、円売り・ドル買いの為替介入の際の相場水準に言及が注目されていた。相場に大きな影響を与えるため当局は具体的な介入水準を明らかにしないのが通例だが、安住財務相は「USDJPY75.63円で介入を指示し78.20円で中止したと口を滑らせた」とあり、海外勢も注目していた。

今週もギリシャ関連で為替相場が変動することは避けられない。特に本日から15日に予定されているユーロ圏財務相会合までは目が離せない。一方では、米オバマ大統領の予算教書演説があり、こちらにも注目したい。

マーケット・レベル



EURUSD(日足) = 25日指数移動平均線は1.3093、この線を下限に上場トレンドが続いている。DOPup=1.3489、DOPdn=1.2833。スロー・ストキャスティックは%K=72.13、%D=74.64、買いから売りへ変化し、ベースは買われ過ぎゾーンに近い。

EURJPY(日足) = 25日指数移行平均線は100.82の線を下限に上昇している。DOPup=103.82、DOPdn=98.80。スロー・ストキャスティックは%K=78.18、%D=69.52、買いを継続し、ベースは買われ過ぎゾーンに近い。

USDJPY(日足) = 25日指数移動平均線は77.00、この線を上抜けし買いの流れに入っている。DOPup=78.10、DOPdn=75.91。スロー・ストキャスティックは%K=73.72、%D=54.47で、買いに変化し、ベースはニュートラルから買われ過ぎゾーンに近い。

## 本日のCFD見直し

## ポイント

ギリシャ債務削減協議と第2次支援策はユーロ圏財務相会合をクリアできず、1ラウンドは9日に失敗に終わり、2ラウンド目は15日設定されており、これがクリアできるかが非常に重要となっている。国際エネルギー機関(IEA)とPEC事務局の月次レポートでは原油需要見直しを引き下げ、売り材料が残り、金価格はCMEが証拠金の引き下げ、流動性が高まるのが期待されるが、テクニカルではややベアな流れが続き、共に、ギリシャの材料が相場の支援材料と確認できるまでは、あまり強気になれない。

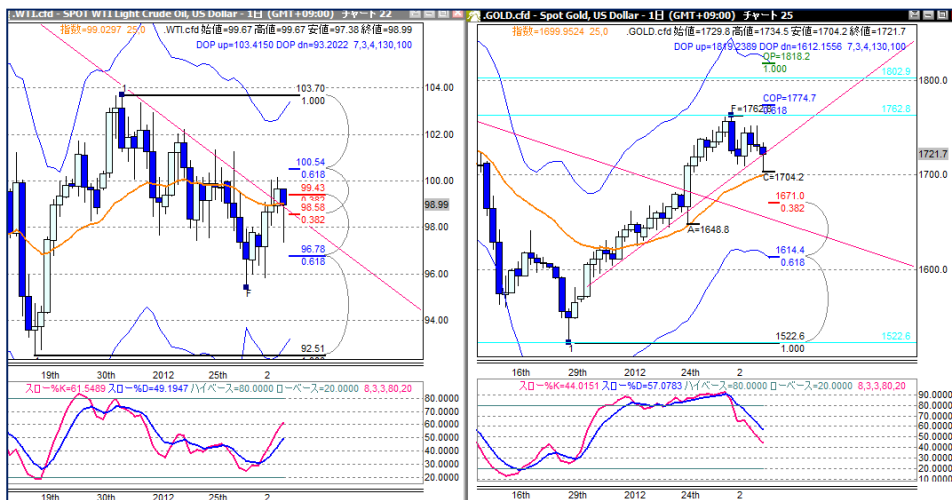
## ◎Spot.WTI(Light Crude Oil)

EMAは99.03を日中は一時割り込んだが、終値ベースでは引き続きサポートされ、ストキャスティクスは買いを継続しており、なんとか上昇トレンドを維持している。上値のポイントは100.54、103.70。下値のポイントは96.78、92.51。

## ◎Spot.Gold

EMAは1699.95で、日中で一時この水準近くまで値を下げたが、終値ベースではなんとかこの水準近くまで値を戻し、上昇トレンドラインをもなんとか意思することができた。ストキャスティクスは売りを継続し、下値不安を残しながらの動きとなっている。上値のポイントは1762.8、1774.7。

## マーケット・レベル



Spot.WTI(Light Crude Oil) (.WTI 日足) = 25 日指数移動平均線は 99.03、終値ベースでこの線近くで終了している。DOPup=103.02、DOPdn=92.81。スロー・ストキャスティックは%K=61.55、%D=49.19で、買いを継続し、ベースはニュートラルゾーンに近い。  
Spot.Gold(.GOLD 日足) = 25 日指数移行平均線は、1699.95、この線を下限に上昇し、昨日はこの線近くまで一時値を下げていた。DOPup=1825.04、DOPdn=1617.96。スロー・ストキャスティックは%K=44.02、%D=57.08で、売りへ変化し、ベースはニュートラルゾーンに近い。

## 2月13日(月曜日) 注目の経済指標 その他

## 発言・その他

- 07:00 ギリシャ 財政緊縮と構造改革法案の採決
  - 19:00 イタリア短期債入札
  - 19:15 ドイツ短期債入札(6ヵ月)
  - 23:00 フランス国債入札
  - 23:00 メルケル独首相、シヨイブレ独財務相と会談
- オバマ米大統領、2013年会計年度の予算教書を提出

## 注目の経済指標

- 08:50 日本 第4四半期GDP速報

2月13日(月曜) 本日の主な経済指標と発表予定

8:50	JPY 第4四半期 GDP・速報=◎前期比予想-0.7 第3四半期1.2%、前期比年率予想-1.3% 第3四半期5.6%、GDPデフレーター予想-1.7% 第3四半期-2.2%
8:50	JPY 12月 第三次産業活動指数=前月比予想0.8% 11月-0.8%
9:30	AUD 12月 住宅ローン=前月比予想1.8% 11月1.4%、投資貸付=前月比予想11月1.8%、持家住宅ローン=前月比予想11月2.2%
17:15	CHF 1月 生産者輸入価格=前月比予想0.2% 12月0.3%、前年比予想-2.2% 12月-2.3%

先週末(2月10日)の海外市場の動き

週末10日の為替市場は、ユーロ圏財務相会合ではギリシャの財政緊縮削減や構造改革で、より厳しい内容を要求し、第2次支援への合意ができずギリシャ政府の対応待ちとなった。アジア市場では期待外れの結果に、リスク資産はやや軟化して推移、欧州市場では、ギリシャ連立与党のLAOS党首が第2次支援の議会承認に反対を表明、無秩序なデフォルトリスクを気にしながらEURやAUDは下落、株式市場も弱くスクオフの流れとなりドル全面高の展開となった。しかし、ギリシャは財政緊縮策を閣議承認して、次に12日に議会採決が行われ、採決が可決される見通しが濃く、EURやAUDは買い戻され、リスクアセットもボトムアウトしたが、S&Pで格付けが付与されているイタリア37銀行中、34行の格下げを発表、週末の米国市場ではドル高水準で終了した。その後、ユンケル・ユーログループ議長は15日にユーロ圏財務相会合の開催を発表、パパデモス首相は、議会採決後に内閣改造の実施を表明した。

- ◎豪中銀、金融政策4半期報告、GDPとCPI見通しを引き下げた→ 一時AUDUSDが売りとなる
- ◎独消費者物価指数は、前年比2.1%(予想2.0% 前回2.0%)と予想を若干上回るが、相場への影響は限定的
- ◎カラザフェリス・連立与党、国民政党派運動(LAOS)党首は、第2次支援の議会承認に賛成票を投じることはできないと反対を表明
- ◎米貿易収支は予想を上回る赤字額→ 対中赤字が過去最大へ、-488億ドル(予想-485億ドル 前回-471ドル)
- ◎米ミシガン大学消費者信頼感は予想を下回る→ ドル売りの流れへと動き始める、72.5(予想74.0 1月75.0)
- ◎米月次財政収支は赤字額が大幅縮小→ 退役軍人の給付金が12月に前倒しで支払っており、-274億ドル(予想-316億ドル 12月-498億ドル)
- ◎S&P、イタリアの銀行34行(格付け付与37行中)の格付けを引き下げた
- ◎ギリシャ財政緊縮策を閣議承認、12日に議会採決へ
- ◎ユンケル・ユーログループ議長、次回のユーロ圏財務相臨時会合を15日に設定し

## USDJPY

アジア市場は、朝方の77.74を高値に伸値後には77.51まで下落、大枠77.55~65の狭いレンジで取引が続いた。欧州市場は、77.54を安値に77.80まで上昇したが、ギリシャ連立与党党首の一人が第2次支援の議会承認に反対、デフォルトリスクの高まりに、EURJPYで円買いが強まり77.60まで値を下げた。米国市場では、大枠77.55~70の狭いレンジで推移した。

## EURUSD

アジア市場は、ユーロ圏財務相会合でギリシャ第2次支援への合意ができず、ギリシャ政府の再提案待ちで動けず、朝方の1.3290を高値に1.3250まで緩やかに値を下げた。欧州市場は1.3240から、中東・東欧勢の買いや、GBPUSDの買いに1.3280台まで上昇、1.3240~60のレンジから、ギリシャ連立与党のLAOS党首が第2次支援の議会承認に反対を表明、1.3180台まで下落した。米国市場に入っても、EUR売りの流れが続き1.3150まで値を下げたが、ギリシャ閣議で財政緊縮策などが承認される見込みに下げ止まり、米ミシガン大学消費者信頼感も弱く、1.3190台まで値を戻した。S&Pがイタリアの銀行34行で格付けの引き下げを発表したが、12日1.3160台で下げ止まり、終盤にかけては1.32台を回復した。

## AUDUSD

アジア市場は、朝方の1.0790近辺を高値に、ユーロ圏財務相会合でギリシャ第2次支援への合意ができず、EURUSDの売りに上値は重く、豪中銀の金融政策4半期報告で、GDPとCPIが下方修正されたことで利下げ観測が急速に高まり、1.0700まで徐々に値を下げた。欧州市場は、1.0712を戻り高値に大枠1.0680~00のレンジから、ギリシャ連立与党のLAOS党首が第2次支援の議会承認に反対を表明し、1.0640近くまで下落した。米国市場では、ギリシャ閣議で財政緊縮策などが承認される見込みに下げ止まり、米ミシガン大学消費者信頼感も弱く1.0680台を回復、S&Pがイタリアの銀行34行で格付けの引き下げを発表し、大枠1.0655~80のレンジで取引が続いた。

## 金・原油価格

- ◎シカゴ・マーカンタイル取引所(CME)、金、銀、プラチナなどの証拠金の引き下げを発表、流動性が改善し金相場の下げも限定的
- ◎国際エネルギー機関(IEA)・(9日)、石油市場月報で世界の石油需要見通しを、景気の先行きを懸念し6カ月連続で下方修正し、原油価格の下げ要因となった
- ◎PEC事務局の月次レポート(9日)、2012年の原油需要見通しを、景気回復に勢いがなく可能修正 ◎今年の消費量見通しを日量8876万バレル(-12万バレル)に下方修正、OPEC加盟国の産油量は需要を5%上回っている

## ◎Spot.WTI(Light Crude Oil)

アジア市場は、開始直後99.84を高値に、ユーロ圏財務相会合でギリシャ第2次支援への合意ができず、リスクアセットの売りが続き、国際エネルギー機関やOPEC事務局の月次レポートで石油需要見通しを下方修正、上値は重く99.35まで下落、大枠99.40~60のレンジで取引が続いた。欧州市場では、欧州株は弱く始まり、99.30を割り込むと利益確定の売りに98.52近くまで続落、ギリシャ連立与党のLAOS党首が第2次支援の議会承認に反対を表明すると、98.50を割り込みストップの売りに98.20台まで値を下げた。米国市場も売りの流れが続き、一時97.38まで急落したが、実需筋の買いに下げ止まり、ギリシャ閣議で財政緊縮策などが承認される見込みに98.61まで買い戻され、98.30近辺をボトムに99.00まで値を戻した。

## ◎Spot.Gold

アジア市場は、1728台を安値に1734台まで上昇、大枠1730~35のレンジで取引が続いた。欧州市場では、欧州株は弱く始まり、前日安値の1725を割り込むと1715まで下落、実需の買い下げ止まり、大枠1715~23のレンジから、ギリシャ連立与党のLAOS党首が第2次支援の議会承認に反対を表明するとリスクオフの流れに1710近くまで下落した。米国市場でも売りの流れが続き、一時1704台まで下落したが、実需筋の買いに下げ止まり、ギリシャ閣議で財政緊縮策などが承認される見込みに1724台まで上昇、大枠1715~24のレンジで取引が続いた。

## 先週末(2月10日)の主な発言・出来事

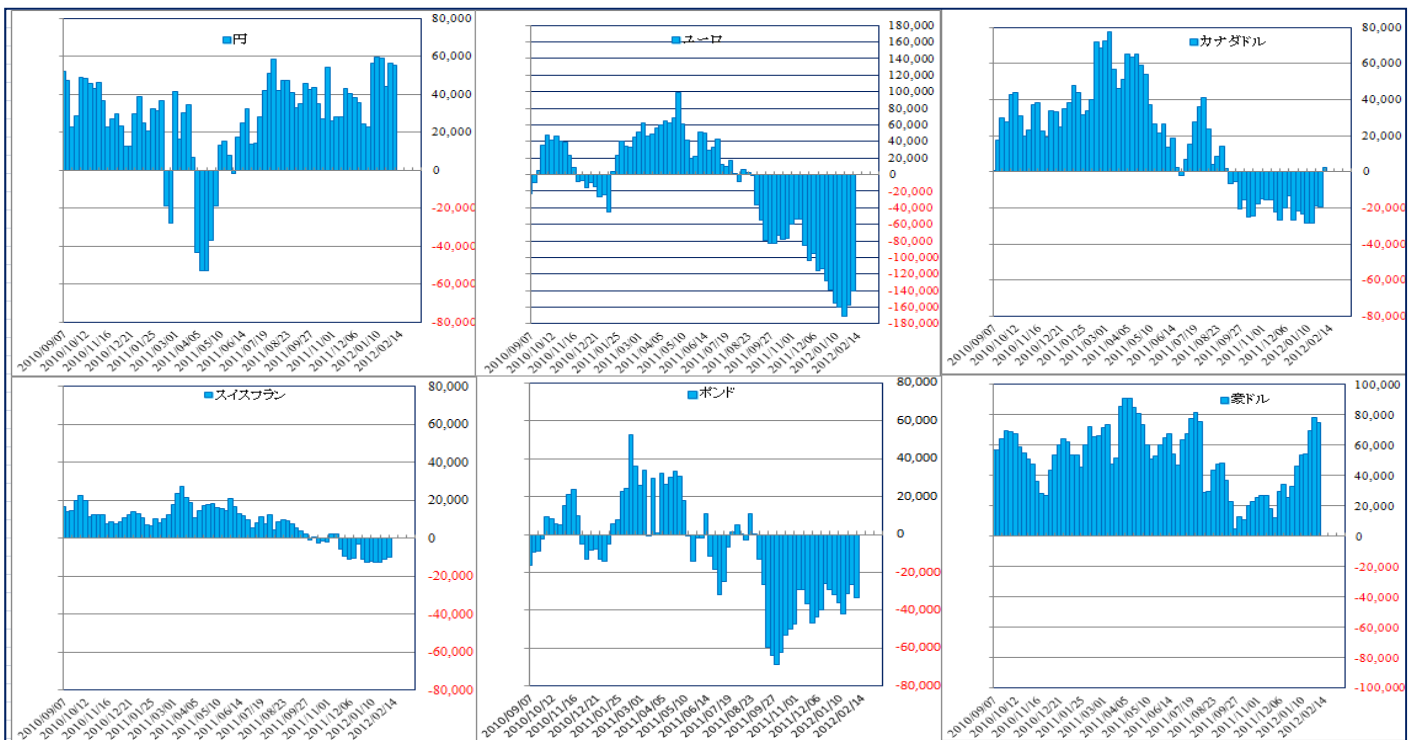
欧州関連	
	S&P=◎イタリアの銀行34行(格付け付与37行中)の格付けを引き下げた→ 債務の借り換え能力の低下や、低収益性見通しが理由で1月に続く引き下げとなる ◎
	スペイン政府は労働規定の抜本的改革を発表=◎従業員解雇に関するコストの引き下げ、賃金交渉に関する法律改正、23%を超える失業率の対策には受給者に社会奉仕を義務付ける
ギリシャ関連	
	ギリシャ財政緊縮策を閣議承認、12日に議会採決=◎EU・IMF支援(第2次支援1300億ユーロ)の前提条件となっている関連法案を閣議承認した 12日に議会採決される見込み
	連立与党の一角を占める、カラザフェリス・極右正当、国民政党派運動(LAOS)党首=◎第2次支援の議会承認に賛成票を投じることにはできないと反対を表明→ 15日に開催されるユーロ圏財務相会合への影響を危惧 ◎支援合意に支持しないと他の政治指導者に説明した ◎尊厳を奪われ屈辱を受け、受け入れることは決してできないと主張 ◎ドイツは豊富な資金力を盾に欧州全体の決定を下し、南欧諸国を支配している
	ペニゼロス・ギリシャ財務相「緊縮策の採決は事実上、ユーロ在留か離脱を問うもの」=◎来月の国債償還で無秩序なデフォルトを避けるためには、厳しい包括案と民間債権者による債務減免案を受け入れるほか選択肢はない ◎決断する時が来た、残念ながらギリシャが選択できるのは犠牲か、もしくは、一段の犠牲 ◎15日予定のユーロ圏財務相会合までにわが国民は最後の極めて休養な決断を下す必要がある
	パパデモス首相(国営NETテレビ)=◎議会採決後に内閣改造を実施
	ギリシャ警察官労組はトロイカ当局者へ逮捕状を要求=◎トロイカ当局者(欧州委員会元代表、IMF担当者、ECB担当)に、「恐喝・民主主義を覆し主権を奪おうとする高、国家侮辱罪」で、ギリシャの法律に従い、彼らに逮捕状を直ちに出すように当局要請すると警告
	ユンケル・ユーログループ議長「要するに、実践なしに支払いなし、ということだ」=◎今回のユーロ圏財務相臨時会合を15日に設定し、それまでに歳出削減を法制化すること、3.25億ユーロの追加削減の方法を具体的にすること、政党指導者が総選挙後に約束を翻さないように書面で同意することを求めた ◎約束が何回も何回も繰り返される一方で、十分な実践が伴わないのではシステムは存在できない
	ザイベルト独報道官=◎ギリシャがデフォルトすれば欧州の利益に反する ◎ドイツ政府はギリシャが債務を持続可能な状態に戻し、競争力を回復することを目指し取り組んでいる
	ショイブレ独財務相=◎包括案と民間債権者による債務減免案で、9日のユーロ圏財務相会合ではギリシャに一段の要求し採決決定を見送った。
	パパデモス・ギリシャ首相、パパンドレウ・全ギリシャ社会主義運動(PASOK)党首、サマラス・新民主主義党(ND)党首・与党第2位=◎TV演説で国民に財政緊縮策指示を訴えた ◎賛成しなければ、金融のメルトダウンの恐れがあり、コストは承認しない場合に比べ、経済的・社会的な影響は抑制される
	サマラス・新民主主義党(ND)党首・与党第2位=◎債務スワップが完了した後で、選挙を行う

	<p><b>ベニゼロス・ギリシャ財務相</b>＝◎2月15日のユーロ圏財務相会合で第2次支援を承認する必要があり、2月17日までに民間債権保有者に対して、債務スワップで正式な提案を行う必要がある ◎合意がなければ、ギリシャはデフォルトに陥る ◎ユーロ圏各国の当局者が第2次支援の承認前に14日に電話会合を開く可能性もある</p> <p><b>ベニゼロス・ギリシャ財務相</b>＝◎トロイカは第2次支援で150億ユーロの増額を求めた</p>
USD	<p><b>米フェデラルフィア連銀の四半期調査(エコノミスト45名)</b>＝◎失業率が従来予想より速いペースで改善すると予想 ◎2012年第4四半期予想(2011年11月調査)＝失業率8.7%→8.1%、通年成長率予想2.4%→2.3%、第1四半期予想2.4%→2.2%、インフレ予想2.0%→2.1%</p>
USD	<p><b>オバマ米大統領は予算教書に増税と雇用創出のために歳出案を復活</b>＝◎増税の対象の大半は富裕層向け ◎年収100万ドル以上は最低30%の税率を課す、手取り25万ドル以上の世帯ではブッシュ減税の延長を見送る、高額所得者の項目別控除額に上限を設ける</p>
AUD	<p><b>豪中銀、金融政策4半期報告</b>＝◎2012年平均成長(前回昨年11月4日)4.0%→3.5%に引き下げた ◎12月までの1年間の消費者物価は3.25%→3.0%に可能修正 ◎基調インフレ見通しは2.75%で据え置いた。 ◎当面は金利据え置きが適切だが、景気大幅悪化では緩和余地が生じる ◎資源ブームと豪ドル高が国内経済にどのような影響を及ぼすかの判断は困難 ◎通貨高が貿易財の価格抑制に寄与しているが、非貿易財の価格は好ましくない水準を超え上昇</p>
OTH	<p><b>ウリュカエル・ロシア中銀第一副総裁</b>＝◎外貨準備でカナダのウェートを若干高めている</p>

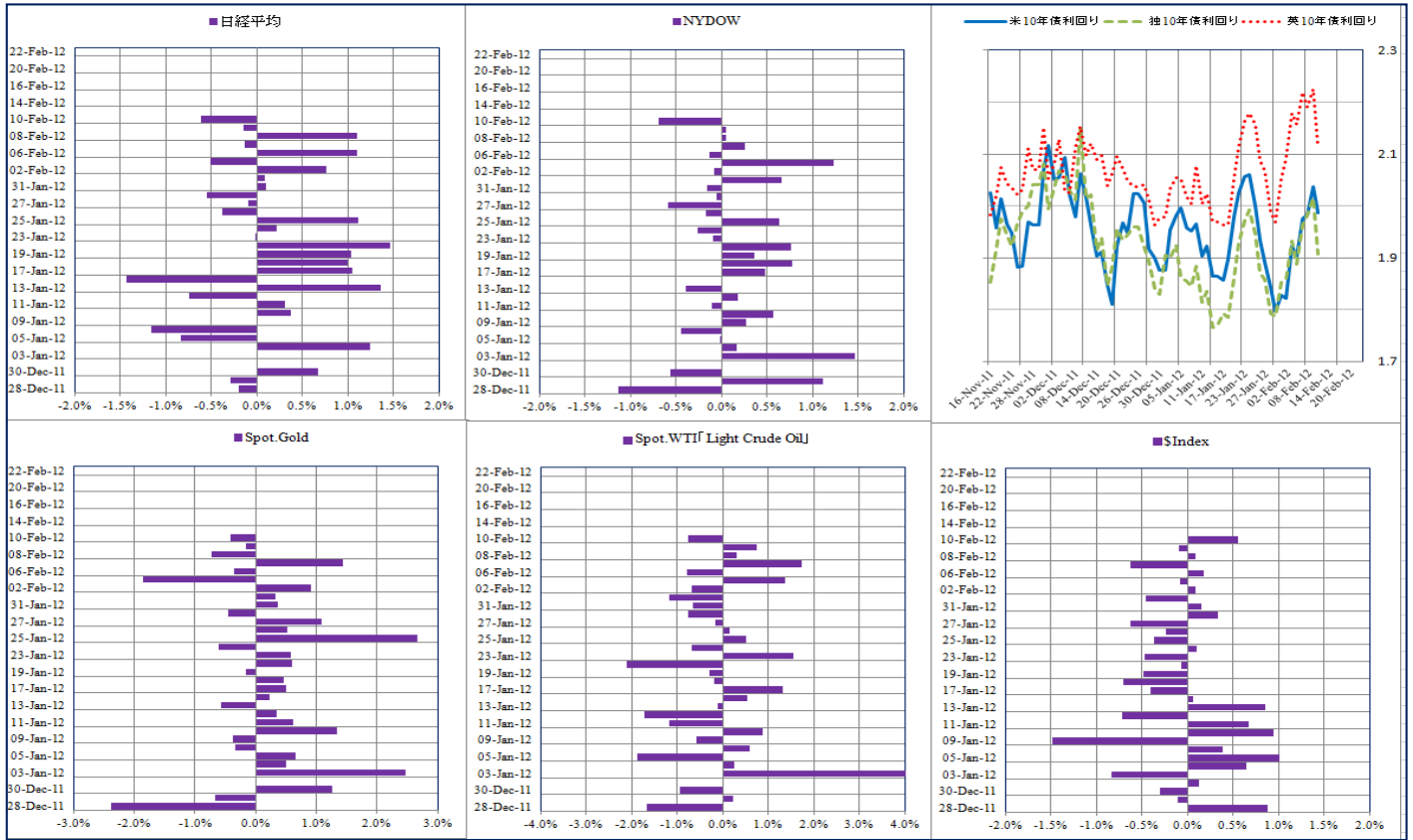
先週末(2月10日)の経済指標と結果

9:30	AUD 豪中銀、金融政策4半期報告
12:04	CHN 1月 貿易収支＝◎272.8億ドル(予想104億ドル 前回165.2億ドル)
16:00	GER 1月 消費者物価指数・確報＝前月比-0.4%(予想-0.4% 前回-0.4%)、前年比2.1%(予想2.0% 前回2.0%)、EU基準CPI前月比-0.5%(予想-0.5% 前回-0.5%)、前年比2.3%(予想2.3% 前回2.3%)
17:15	CHF 1月 消費者物価指数＝前月比-0.4%(予想-0.3% 前回-0.2%)、前年比-0.8%(予想-0.8% 前回-0.7%)
18:30	GBP 1月 生産者仕入価格＝前月比0.5%(予想0.2% 前回-0.6%)、前年比7.0%(予想6.8% 前回8.7%)、生産者出荷価格＝前月比0.5%(予想0.1% 前回-0.2%)、前年比4.1%(予想3.7% 前回4.8%)、生産者出荷価格コア＝前年比2.4%(予想2.3% 前回3.0%)
22:30	CAD 12月 貿易収支＝26.9億カナダドル(予想8億カナダドル 前回11.7←10.7億カナダドル)
22:30	USD 12月 貿易収支＝-488億ドル(予想-485億ドル 前回-471←-478億ドル)
22:55	USD ミンガン大学消費者信頼感・速報値＝72.5(予想74.0 1月75.0)、景気現況指数＝79.6(1月84.2)、消費者期待指数＝68.0(1月69.1)
4:00	USD 1月 月次財政収支＝◎-274億ドル(予想-316億ドル 12月-498億ドル)

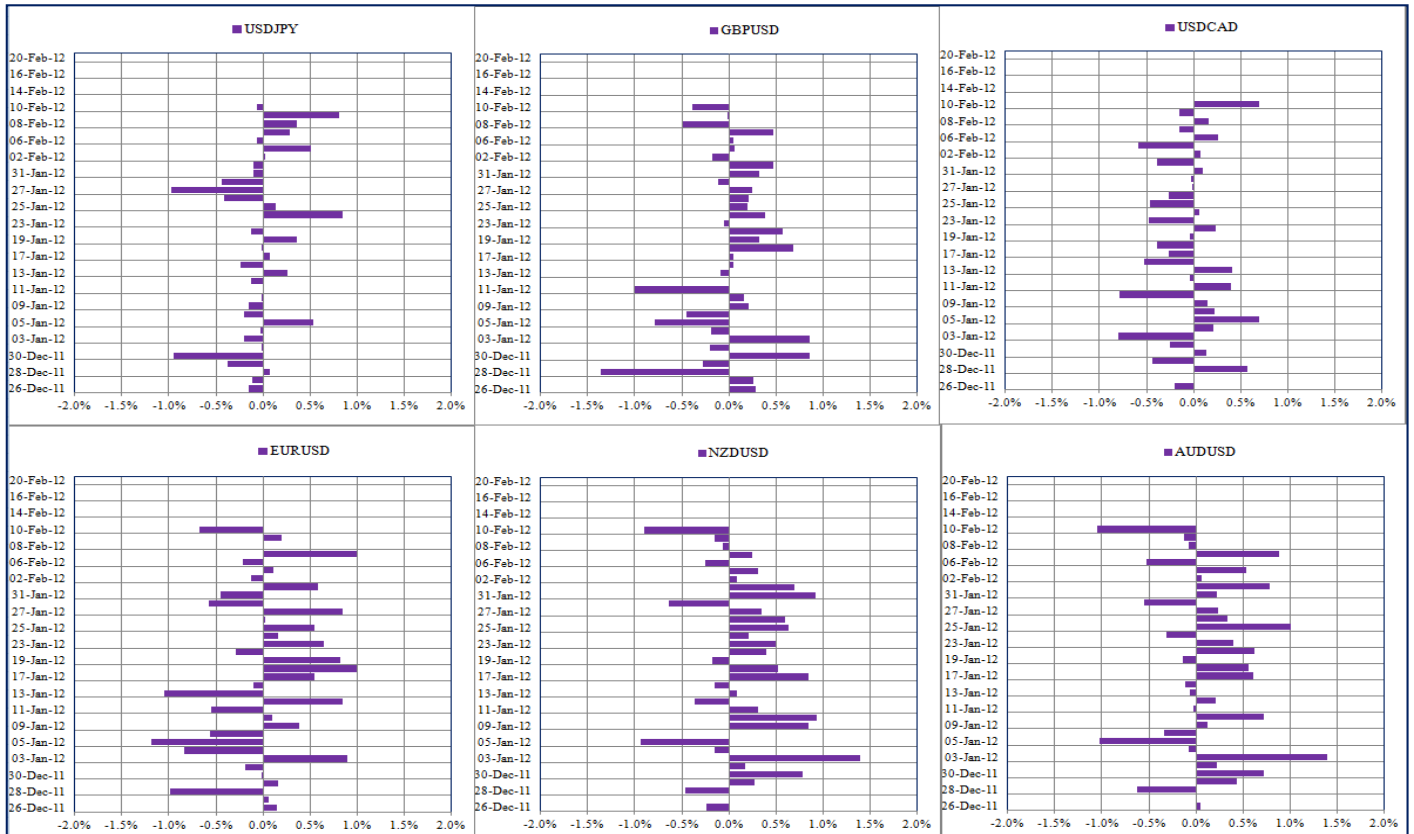
CFTC 発表の IMM 通貨先物の取り組み(2月7日まで発表)



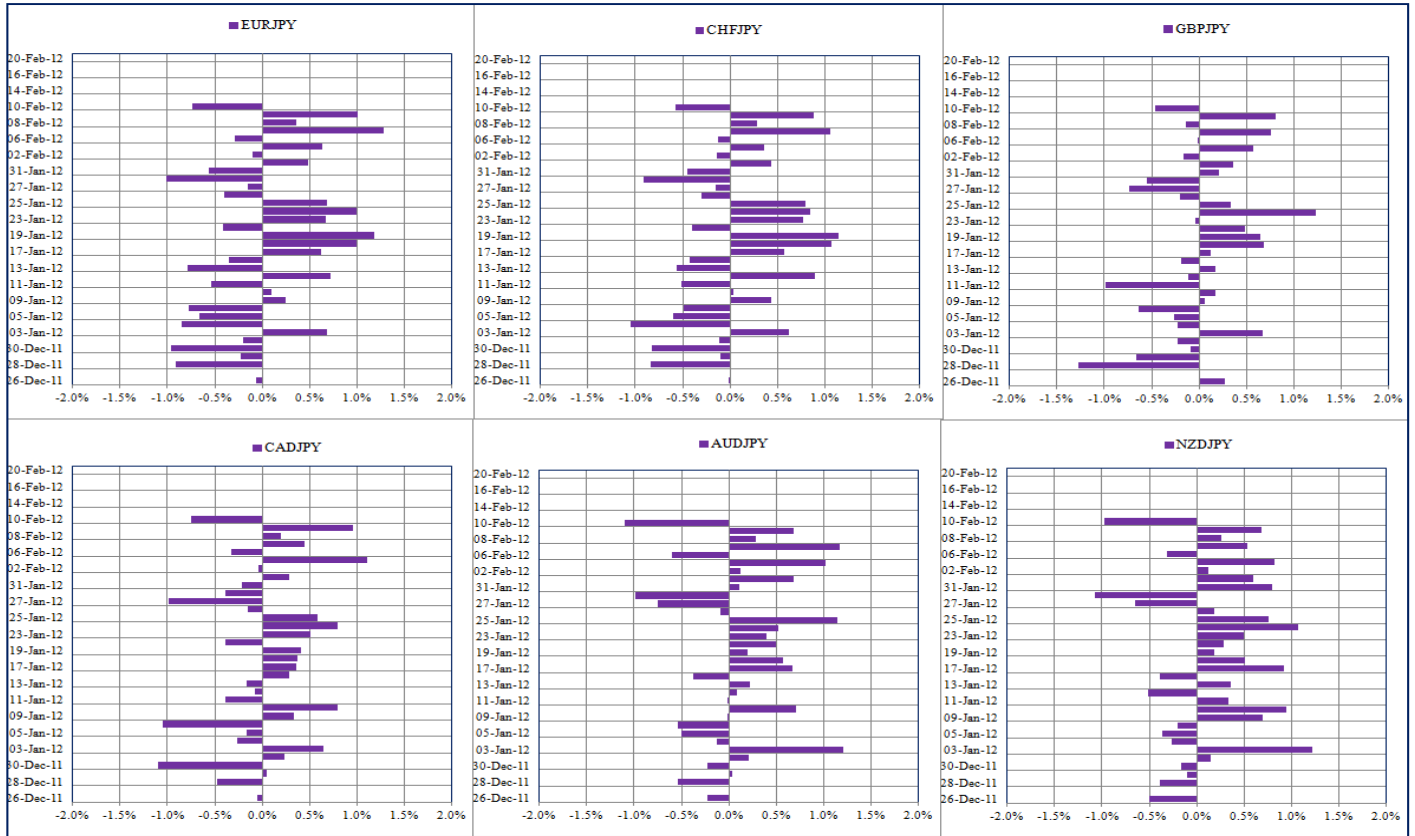
日経平均株価・NYダウ平均株価・SpotGold・SpotWTI・\$Index の (Daily 変動率)、10年債利回りの Daily 推移と比較



主要通貨の Daily 変動率 (%)



## 円クロスの Daily 変動率(変動率)



USD=米国、JPY=日本、GER=独、GBP=英国、CAD=カナダ、AUD=豪州、NZD=ニュージーランド、  
CHF=スイス、NOK=ノルウェー、SEK=スウェーデン、CHN=中国、FFR=フランス

本レポートで言及している市場予想の出所=fx360.com,ロイター社。各国経済指標・日時の出所=fx360.com ロイター社

外国為替保証金取引 (FX) 及び CFD には、高いレベルのリスクが潜在しており、全てのお客様に適した投資商品とは言えません。高いレベルのレバレッジは、利益ももたらしますが、損失ももたらします。預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、損失に耐えられない金額を投資するべきではありません。過去のパフォーマンスが、必ずしも将来の結果を示唆しているわけではありません。

本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 筆者によって提供される市場に関する如何なる予測や見解についても、その正確性が検証されている訳ではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

GFT はお客様への一般的な情報として本資料を提供していますので、投資判断を行う際の詳細な独自調査に代えて本資料に依拠することはお控えください。

GFT は、本資料に含まれる情報に基づいた投資の結果として発生した損害に対して、如何なる責任も負いません。また、投資、法律、会計、税務、またはその他の専門的助言についても、一切提供することはありません。これらの専門的助言が必要な場合は、専門家にご相談ください。

同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。[www.gftforex.co.jp](http://www.gftforex.co.jp)

© 2011 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。

CD08J.005.113011